

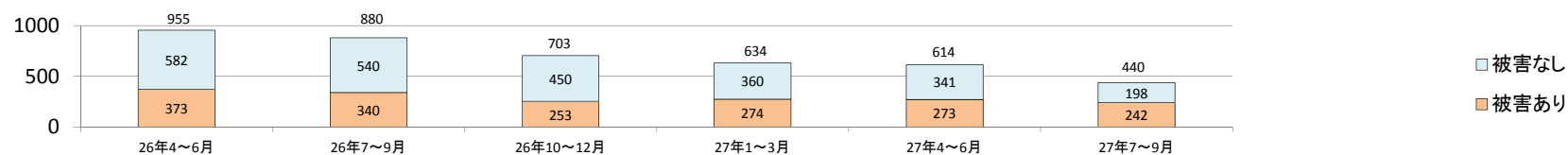
金融サービス利用者相談室における相談の受付状況（トピックス）

◎詐欺的な投資勧誘

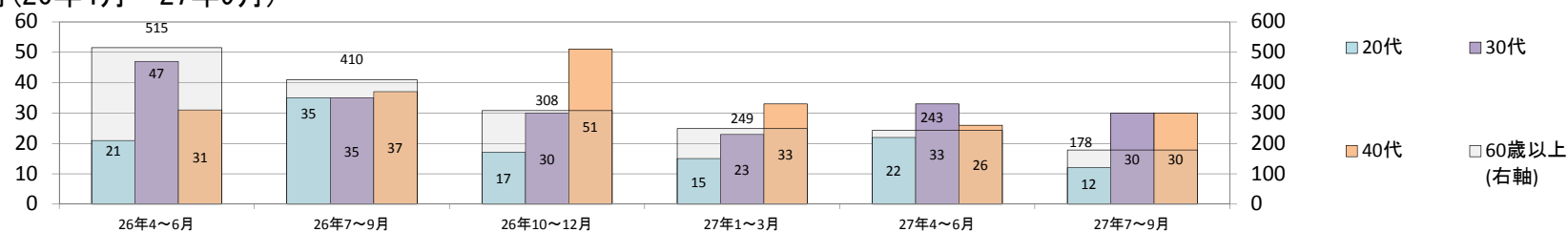
～ 件数は減少、高齢者が大部分(64%)を占める傾向は変わらず。高齢者に比べ、20～50代は被害後の相談が多い～
 今期(27年7月～9月)：440件(前期比▲194件、▲30.6%)
 年代が判るもの：278件(うち60代以上178件、64%(前期67%))

詐欺的な投資勧誘に関する情報の受付状況(年代別)

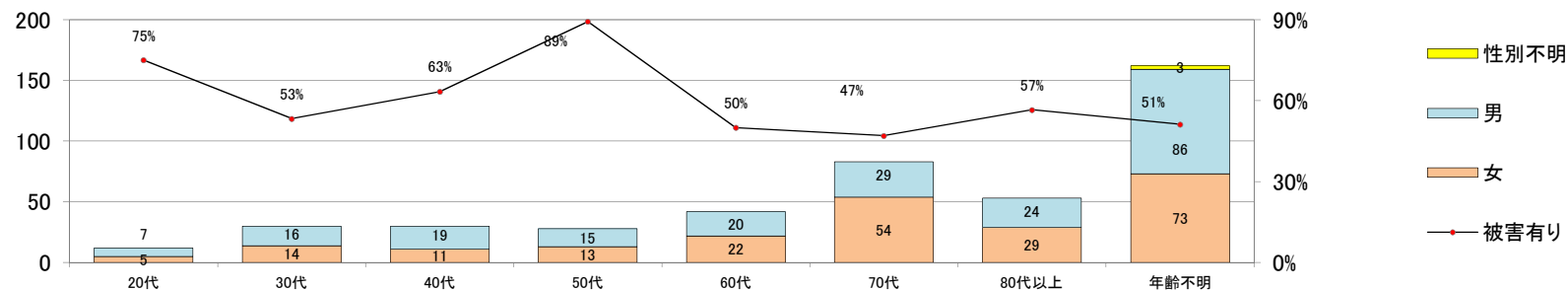
時系列(26年4月～27年9月)



年代別(26年4月～27年9月)



今期(27年7月～9月)



20～40代の相談は、「ネットで見つけた海外業者とFX取引を行った。取引をやめたい。」「海外の投資会社の紹介を受けた。」など、海外の業者に絡む相談が引き続き多く寄せられている。

(注) 年齢は、25年4月より聴取を開始。比率は、年代が判るものの中での比率とした